

AGRI WORK POINT

アグリ ワーク ポイント



水田除草剤の体系処理

農業経営支援課 渡辺 彰人

計画的に複数の除草剤を組み合わせることで除草剤の「体系処理」といいます。体系処理を行う事で除草効果を長期間保つことができます。

本田耕起前・畦畔^{けいはん}・農道・休耕田^{きけいでん}（春季耕起前に散布）

○ザクサ液剤+ダイロンゾル（畦畔用）

○ラウンドアップマックスロード（本田用）

○タッチダウンiQ（本田用）

初期除草剤

○サキドリEW

使用時期：代かき後～田植前7日まで 広葉雑草・

ヒエ・マツバイ

○エリジャンジャンボ

使用時期：代かき後～田植前7日まで ヒエ1葉期まで

初・中期除草剤（一発除草剤）

○カチボシ粒剤

使用時期：田植え同時～田植後30日 ヒエ2.5葉期まで

○ジャスタジャンボ

使用時期：田植え後1日～30日 ヒエ3.0葉期まで

新規成分「サイラ」を含み幅広い雑草に効果あり

中・後期除草剤

○クリンチャーバスメ液剤

使用時期：中干し期（落水してから散布） ヒエ5

葉期まで、多年草雑草

○ワイドパワー粒剤

使用時期：田植後20～35日 ヒエ5葉期まで、一年

草雑草

除草剤を良く効かせるポイント

☆代かきを丁寧に行い水深を均一にします。

☆水深3～5cmで使用し、使用後は7日間止め水で管理します。

落水・かけ流しをせず、水深が浅くなったときは静かに差し水をします。

☆除草効果の減少や薬害の発生を招くので、凹凸^{ぼつとつ}な田面・田面の露出・強い水の流れには注意しましょう。